

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年09月15日

計画の名称	栗東市における良好な水環境の形成、市街地の浸水対策（その2）（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成32年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	栗東市												
計画の目標	安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	370	A	370	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 平成30年	中間目標値 平成31年	最終目標値 平成32年
1	下水道による都市浸水対策（葉山川2-4号雨水幹線）の達成率を0%(H30)から100%(H32)に増加。 都市浸水対策を実施すべき区域のうち、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるかのような下水道整備が完了している区域の面積の割合（葉山川2-4号雨水幹線） 概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha) / 都市浸水対策を実施すべき区域の面積(5.4ha)	0%	100%	100%
2	下水道による都市浸水対策（葉山川3-8-1号雨水幹線）の達成率を41%(H30)から100%(H32)に増加。 都市浸水対策を実施すべき区域のうち、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるかのような下水道整備が完了している区域の面積の割合（葉山川3-8-1号雨水幹線） 概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha) / 都市浸水対策を実施すべき区域の面積(25.65ha)	41%	56%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H30	H31	R02	R03	R04					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	栗東市	直接	栗東市	管渠（ 雨水）	新設	葉山川第二排水区（葉山 川2-4号雨水幹線）	□1900～2500mm L=220m	栗東市	■					220		未策定		
	A07-002	下水道	一般	栗東市	直接	栗東市	管渠（ 雨水）	新設	葉山川第三排水区（葉山 川3-8-1号雨水幹線）	□1400～1700mm L=338m	栗東市		■	■			150		未策定		
												小計						370			
												合計							370		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

栗東市上下水道事業審議会にて実施

事後評価の実施時期

令和3年度

公表の方法

市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

事業実施後、大雨での対策区域における道路冠水等の浸水被害は確認されていない

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

引き続き現場状況を確認し、雨水幹線の整備効果を検証しつつ、有効的に整備を推進する

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	83%
一定の効果が得られる範囲までの整備が完了したため		
2	最終目標値	100%
	最終実績値	57%
一定の効果が得られる範囲までの整備が完了したため		

(参考図面) 社会資本総合整備計画

